
沼津情報・ビジネス専門学校のカリキュラムポリシー

沼津情報・ビジネス専門学校は、卒業認定および高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準をシラバスにより明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。さらに、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年 2 回以上実施し、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得できるよう、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

コンピュータ科のカリキュラムポリシー

コンピュータ科は、沼津情報・ビジネス専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、コンピュータ全般に幅広い知識を持つプログラマ、システムエンジニアを育成することを目標に、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

コンピュータに関する基礎知識を身()に付けるため、ハードウェア・ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズム、IT 戦略や IT マネジメント等の情報基礎分野の学習を行い、到達目標として基本情報技術者試験免除対象講座修了試験（科目 A 免除試験）、基本情報技術者試験に挑戦する。静岡県東部は C 言語を始めとする言語を用いた制御系・組み込み系開発が盛んな地域であるため、地元のニーズに合わせ C 言語を基幹言語として学習を進める。あわせて、Windows アプリケーションの開発として C#、Web アプリケーションの開発として HTML・CSS を習得していく。

【2年次】

1年次に学習した知識や技術を活かして、演習を中心にシステム設計を主軸とした授業を行い、UML を用いたシステム設計から Access と C# によるシステム実装までを実践的に学ぶ。また、新技術として Python による画像認識を用いた AI 活用プログラム、Unity を用いたモバイルアプリケーション開発など、各分野に特化した学習を進めていく。プログラミング分野では、1年次に学習した C# を基礎に SQL を組み合わせる Windows プログラムや、PHP を用いてデータベース連携を行う Web アプリケーション開発など、様々な場面で活躍できるシステムエンジニア・プログラマを目指す。
